

平成 26 年度国有林モニター会議 アンケート結果概要

モニター会議のご感想、森林・林業や国有林野事業に関するご意見を伺うため、会議終了後にアンケートを実施し、23名の方に回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。いただいたご意見を、抜粋・要約して掲載致します。

I 今回の国有林モニター会議についてご感想をお聞かせ下さい。

- ・具体的な日本の国有林・民有林の現状、将来の見通しが良く分かった。
- ・切実な問題を抱えて会議に臨まれた方がたくさんいたので、時間が足りないと感じた。
- ・地域によりさまざまな問題をかかえていることが分かった。
- ・木材の利用に副次的効果（香り、触感、湿度など）が有り、木が本来持つ性質を活かした建築物が有効であることを知った。
- ・現在林業に従事されている方がモニターで、「生の声」を聴くことができ参考になった。活発な質疑で良かった。

II 今回配布した資料をご覧になって、ご意見・ご感想がございましたらご記入ください

- ・前に郵送され見たことがあったものも、お話を聞くとよくわかり理解がすすんだ。
- ・充実した内容を、写真等を使用し分かりやすく説明している一方、同じような資料が多いので、役割ごとに切り分ける工夫が必要。
- ・花粉対策や病害虫対策など広い範囲で取組を計画していると知り、頑張ってもらいたい。
- ・木材（用材）の自給率が近年 20 %を下回っていたが、平成 25 年度で 28.6 %になっている。国・県・各市町村・各森林組合・林業家他各関係者・皆さん全部の努力のたまものと思う。今後共、努力を続け、自給率を上げて貰いたい。
- ・佐賀県伊万里市の集積場の写真を見、システム販売による木材の安定供給について知った。県どうして連携すれば、今後はスケールメリットを活かせるのではないかと、提言することで木材（県産材）の有効利用に寄与できそうに感じた。

III その他、言い足りなかった点、国有林や森林・林業全般に対するご意見、ご要望等がございましたらご記入下さい。

- ・森林環境教育を、子どもに限らず、大人にも機会を設けていただくと、体験を通して森林の重要性に関心を持つ方が増えるのでは。
- ・「地方創生」の為には、地方における多くの面積を占める森林の有効活用や、森林を元気にする施策は必要不可欠。今後も、九州森林管理局に期待する事が大きい。
- ・林業の少子高齢化の状態を解決するには今後 100 ~ 200 年のスパンの国の施策が必要と思う。持続可能な林業を行うには、適正な年齢構成にする計画的な主伐が必要。
- ・エリートツリー、花粉が出来ない杉の改良等、新たな林業技術開発は、担い手不足が叫ばれる中非常に重要だと考える。「民（間）・官・金（融）・学（校）」連携で不断の研究と実用化が求められる。
- ・林業にこれから就業しようとする人たちに支援をしていくことが必要だと思う。